

令和5年10～12月期 景気観測調査の結果について（ご報告）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
ご協力を頂いております標記調査について結果を取りまとめましたので、下記のとおり報告させていただきます。

記

1. 調査概要

- ・調査対象：県下商工会議所会員企業 584 社
- ・調査時期：12/1～12/15
- ・有効回答数：513 社（回収率 87.9%）

2. 令和5年10～12期「景況概要」

「景況DIは4期連続で改善するものの、個人消費で力強さに欠ける」

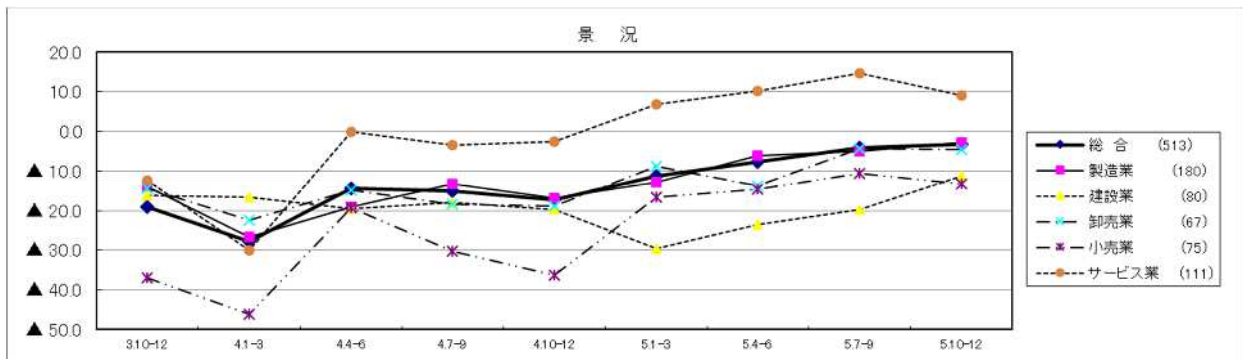
景況全体では、前年同期（令和4年10～12月）と比べて、「好転」から「悪化」を差し引いた総合DI値は▲3.3となり、前期に比べ0.7ポイント上昇し、4期連続の改善となった。サービス業でプラス幅が縮小し悪化した一方、建設業ではマイナス幅が縮小し改善した。

原材料仕入価格の上昇には一服感が見られ、製造業、建設業が堅調であること等が寄与したものと見られる。

しかしながら、コロナ禍が落ち着いて以降、回復傾向が続いていたサービス業や小売業において、売上額などに悪化傾向が見られ、個人消費の需要拡大に力強さが欠けつつあること等から、先行き見通しは予断を許さないものと考えている。

※DIは各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）の回答割合が多いことを示す。

DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

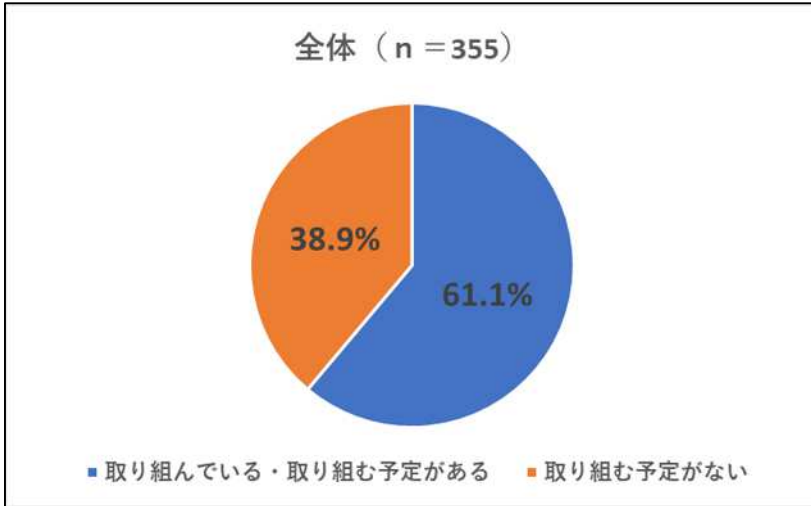


景況	3.10-12	4.1-3	4.4-6	4.7-9	4.10-12	5.1-3	5.4-6	5.7-9	5.10-12	今期-前期
総合 (513)	▲19.0	▲27.7	▲14.5	▲15.0	▲17.3	▲11.2	▲7.8	▲4.0	▲3.3	0.7
製造業 (180)	▲14.0	▲26.7	▲19.1	▲13.2	▲16.8	▲12.9	▲6.0	▲4.9	▲2.8	2.1
建設業 (80)	▲16.1	▲16.7	▲19.5	▲18.0	▲19.8	▲29.5	▲23.5	▲19.8	▲11.3	8.5
卸売業 (67)	▲14.5	▲22.4	▲14.9	▲18.5	▲18.8	▲8.7	▲13.6	▲4.3	▲4.5	0.2
小売業 (75)	▲37.0	▲46.2	▲19.2	▲30.1	▲36.4	▲16.7	▲14.7	▲10.7	▲13.3	2.6
サービス業 (111)	▲12.3	▲30.1	0.0	▲3.5	▲2.6	6.8	10.2	14.7	9.0	5.7

3. 付帯調査：「物流 2024 年問題」に対する意識調査

(1) 物流の効率化に向けた取り組みについて

【図表 1】



(2) 上記で「取り組んでいる・取り組む予定がある」のうち、具体的な項目について

【図表 2】

